



岩江中だより

第41号
発行日：平成27年 2月19日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail: school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【子育てとは、学ぶとは、指導とは、主体性とは！ ～雪かきから考え、学ぶ。～】

下の写真は2月18日（水）の早朝の、横断歩道からの写真です。左・中・右の順番でご覧ください。（写真を見る間）



いかがでしたか。この写真からどんなことが見て取れますでしょうか。私は今、標題にあるようなことを考えています。

左側の写真の右側、生徒昇降口まで続く1本の雪かきした道があります。中央付近で雪かきを持って雪をかいてくれている女の子、この女の子たちは、その右側の雪かきした場所やその近くを通って学校に入っていました。その後すぐ、雪かきを持って画面に再登場してきました。

真ん中の写真では、雪かきをしてくれる人が増えました。当然、雪をかいた面積も増えました。「受験生だから風邪ひかないように。人が通ればそれでいいよ。ありがとう。」の声かけもむなく、女の子たちは雪かきを続けてくれました。後から登校してくる子どもたちも歩きやすくなったはずです。

右側の写真では、すっかり通路は雪かきが完了し、安心・安全な登校ができるよう、通路が確保されました。そればかりか、奥のグラウンドに続く階段まで雪かきの活動が広がっています。

左側の写真の、一本の雪かきした道に女の子たちはどんなことを感じ、その一本の道は女の子たちにどんな学びをもたらしたのか。雪かきを全部自分がやってしまったのでは、子どもたちも先生方も自ら動く機会を奪ってしまうことになります。ひょっとして、もともと女の子たちは、一本の雪かきした道があってもなくても雪かきをしてくれたのかもしれませんが。

真ん中の写真で、雪かきをする子どもたちや先生方の数が増えたのはどうしてなのか。共に活動することの楽しさを共有しようとするためなのか、みんなが助かることに取り組むことへの気持ちよさなのか、などとも考えました。ただ一つ言えることは、人から言われたからやっているのではないということです。朝の7時に校長とこの女の子たちが交わした言葉は、「おはよう。」と上記の「止めていいよ。」という意味の言葉だけでしたから。

右側の写真で、雪かきの輪がどんどん広がったのはなぜなのでしょう。きっと、よいことは自分も、そして、役にたつことはみんなで、という思いが、雪かきをしてくれた子どもたちの中にあつたことは間違いありません。“善意”とか“奉仕”とかいう気持ちの波紋が次々とそこを通る人たちに広がり、言葉でなく心でみんなが一つにつながった結果としての姿ではないかと考えました。

教師として、子どもたちに何ができるか。雪の降り積もった朝7時に横断歩道にいたからこそ感じたことかもしれません。『共に』とはそういうことかもしれません。

【生徒会活動もまとめの時期を迎え！～第2回生徒会総会が26日に開催されます。～】

平成26年度の生徒会活動も最終段階を迎えました。生徒会という組織による話し合い活動と実際の取り組みは、子どもたちが将来、社会生活を円滑に送っていくために欠かすことのできない学習活動です。

さまざまな思いや考えをもった別々の人間が、同じところで仲良く生活していくためには、学校生活の中で、互いを理解し、思いやり、主張し、折り合いをつけ、ある場合は我慢し、そんな繰り返しの中から、人と人との関わり方について学び、身につけていくことが大切です。子どもたちにはそのあたりを生徒会総会の要項の中でお話させていただきました。子どもたち一人ひとりが、社会や集団の重要な構成員として、生き生きと活躍できる存在になってくれるよう願ってやみません。

「三春町立岩江中学校第2回生徒会総会に寄せて」

三春町立岩江中学校長 佐藤和典

生徒会会則第1章総則第3条『本会は学校の教育方針に基づき、会員が自主的な活動により学校生活を充実したものにするを目的とする』とあります。

先日の学校だよりで紹介した4つのうれしいお話は、生徒のみなさんの中学校生活の充実ぶりをまさに示すものであると考えます。

雪や寒さに凍えるお年寄りに、「傘はいかがですか。」と2本の傘をさしだした二人の女子。学校生活はまずは生活習慣からという自覚をもち、登校時間にいつもより10分も早く登校できるようになった男子。じっくり物事を考え、多くは語らない性格だが、話すべき時にははっきりと意思表示できる、頼れる男子。人の役にたつことを大切にし、人を助けられる勇気をもった雪かきを手伝ってくれた男子。

まさに、みなさんのこの姿は、私たち岩江中学校に生活するもの全てが共にめざす『自立』への道だと考えます。このみなさんの姿は、社会生活や生きていく上での「真理」であり、自分と同じように隣人も愛するという、まさに「博愛」の姿であり、それらの行動は、心身の「健康」なくして成し遂げることはできません。みなさんのそういう行為自体が社会や集団へ「貢献」する姿そのものなのです。ぜひ、自分たちの、岩江中学校での生活に自信と誇りをもってください。みなさんは本当にすばらしく、かけがえのない存在なのです。

そして、もう一つ考えてみてください。みなさんがそのすばらしい行動が何気なくできるようになったのはなぜか。それはもちろん、みなさんのお父さん、お母さんから教えられたもの、岩江という地域から教えられたもの、岩江中学校の先生方から教えられたものであります。そのさまざまな教えをみなさんが一生懸命吸収し、反すうし、自分の価値観として身につけ、行動できるようになってきたからなのです。私がいつもお話する『『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～』という校長としての方針は、まさに、みなさんの今の学びとその成果としての姿をさしています。もうすでに、みなさんの中には、『私にはこれがある』という、いわば、自尊心とでもいうものが育ちつつあります。みなさんはそれを自覚し、今後ますます自分自身や所属する集団に磨きをかけていけばいいのです。

人の命は一つ一つかけがえがなく、人の一生は決して後戻りすることはできません。ものごと決して暴力では解決などすることはありません。人と人が温かな心と心でつながり、優しさで満ちあふれた学校・社会こそ、この社会の理想とする姿です。そんな、一人ひとりの生徒のみなさんが『自立』した岩江中学校を、心と心でつながった岩江中学校をみんなでつくっていきましょう。このようなすばらしい生徒のみなさんや先生方がいる岩江中学校は、それができる学校なのです。

第2回の生徒会総会にあたり、みなさんのこれまでの成長した姿について再確認すると共に、今日の総会がますます深まりのあるものとなり、みなさんの自主的な活動の姿がさらに学校生活のいたるところで見られるようになることをお祈りし、校長よりの励ましの言葉といたします。

【少しずつ浸透してきています！～日々の積み重ねこそ大切に！本当の『自立』へ。～】

学校の内外を回ると、いろいろな発見や指導のチャンスがそこにはあります。第3学期になって、子どもたち等に意識してほしいことに、“トイレのスリッパ”があります。公共のトイレは汚れているところがあるということを時々聞きます。岩江中学校のトイレも少し気になる場所がありました。しかし、みんなで意識してトイレのスリッパを整え続け、少しずつ、スリッパがきちんといつでも整っているようになってきています。『心』の定着まで続けたいと思います。

